

岡山後樂園幻想庭園「能楽の夕べ」

令和6年8月24日(土)

午後5時15分開演(午後4時45分開場)

於 岡山後樂園能舞台

ライトアップされた庭園と、
世界無形文化遺産の「能楽」を楽しむ。

能 羽 衣

舞囃子

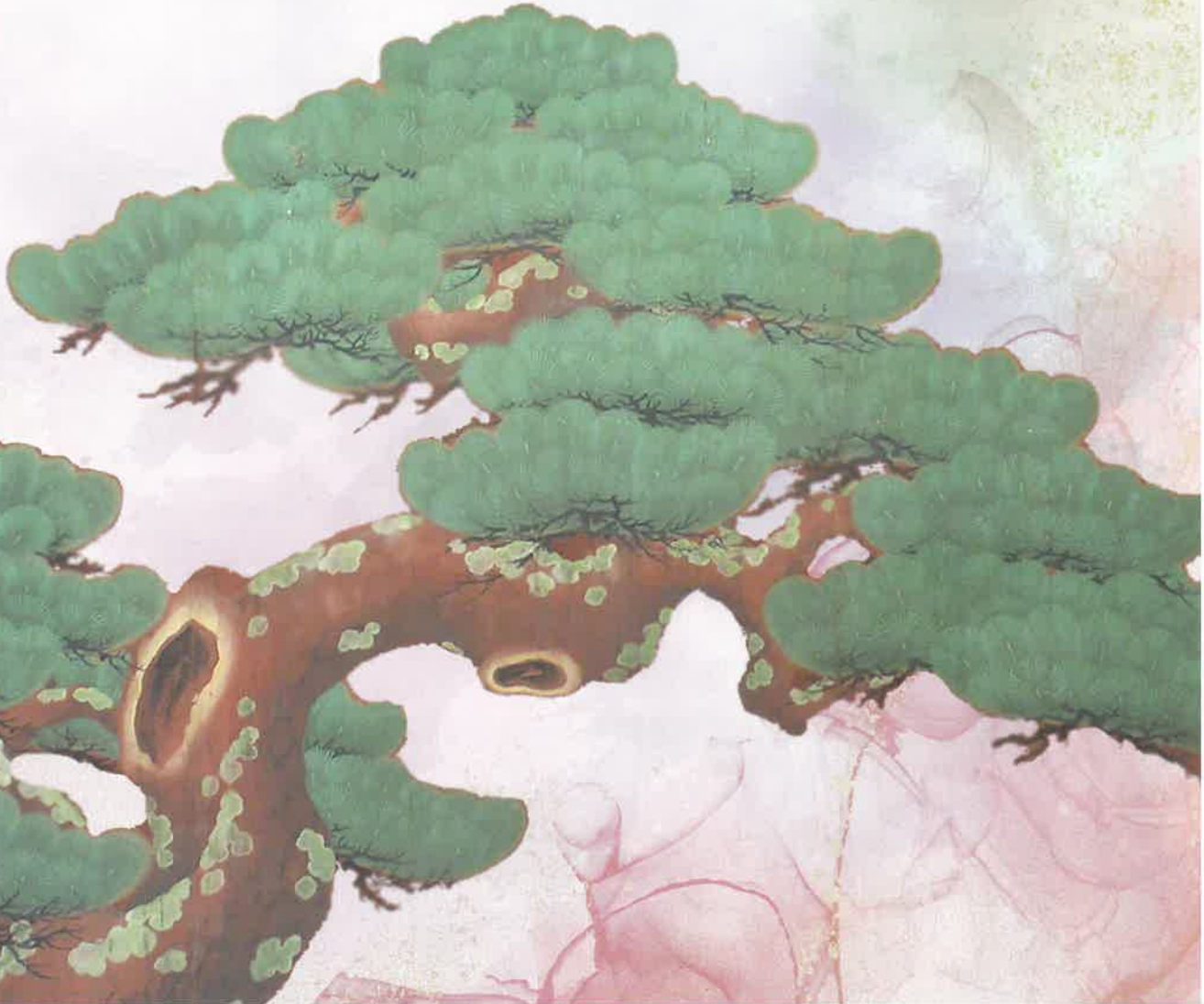
高砂 八段之舞
熊坂

一調

葛城

仕舞

雨月
玉之段
邯鄲



桐英会特別公演 岡山後楽園幻想庭園「能楽の夕べ」

番組

お話し

馬野 正基

舞囃子 高砂 林 宗一郎

八段之舞

大鼓 原岡 一之 太鼓 金春惣右衛門
小鼓 古田 知英 笛 八木原周平

舞囃子 熊坂 北浪 貴裕

大鼓 原岡 一之 太鼓 金春惣右衛門
小鼓 古田 知英 笛 八木原周平

一調 葛城 謡 大島 衣恵

太鼓 梶谷 義男

仕舞 雨月 浅見 慈一
仕舞 玉之段 馬野 正基
仕舞 邯鄲 清水 義也

地謡 北浪 貴裕
林 宗一郎 宜長

能 羽衣

シテ 田口 亮二

大鼓 國川 純 太鼓 梶谷 英樹
小鼓 横山 幸彦 笛 槻宅 聡

後見 清水 義也
林 宗一郎
地謡 北浪 貴裕
浅見 下川 馬野 正基
慈一 宜長

休憩

(終演 十九時頃)

★終演後は美しくライトアップされた「夏の幻想庭園」を是非ご鑑賞ください。

■ 舞囃子「高砂 八段之舞」(たかさご・はちだんのまい)

兵庫県高砂市の高砂神社と大阪の住吉大社にまつわる、昔から結婚式などでも語られてきた『高砂や…』で有名な祝言曲です。今回は、住吉明神が月の下に神々しく現れ、悪魔を祓い夫婦愛や長寿を言祝い、平和な世を祝福する後半部分を、軽快な囃子と颯爽とした舞を、常よりもたっぶり楽しめる「八段之舞」の舞囃子でお楽しみいただきます。

■ 舞囃子「熊坂」(くまさか)

都から東国へと旅に出た僧は、美濃の国で、牛若=後の義経に返り討ちにあった盗賊の首領・熊坂長範の平いを頼まれる。僧が熊坂ゆかりの持仏堂で読経していると、熊坂の亡霊が現れ、かつての牛若との戦いを再現し、さらなる回向を願い消えていく。今回は、熊坂が大薙刀を振り回し大奮闘するも、ついに牛若に討たれて命尽きる終曲場面を、大胆な動きと華やかな囃子とともに舞囃子でご覧いただきます。

■ 能「羽衣」(はごろも)

漁師の白龍(ワキ)は、浜辺の松に見たこともないような美しい衣が掛かっているのをみつけ、家宝にしようと持ち帰ろうとする。と、そこに天女(シテ)が現れて「それは天女の羽衣で、それがないと天上に帰れないから返してほしい」と懇願する。白龍は「それでは噂に聞く『天女の舞』をみせてくれたら返そう」ともちかけると、天人はそれを承諾し、返してもらった衣をまとい優美な舞を舞い天へと帰っていく。静岡県の三保の松原に伝わる、有名な「羽衣伝説」を題材にした美しく華やかな人気曲です。



江戸時代後期、築庭を命じた藩主・池田綱政は、能に熱心ですぐれた舞い手でもありました。昭和 20 年の空襲で能舞台も焼失したため、現在の舞台は綱政の子・継政時代の遺構をもとに復元。鏡板の老松と右板壁の竹の絵は、郷土の画家・池田遙郵画伯の筆によるものです。

梶谷 英樹 / 桐英会主宰

太鼓方金春流、昭和 45 年岡山県生まれ。幼少より祖父・尚太郎の手ほどきを受け、6 歳で二十二世宗家 故 金春惣右衛門(人間国宝)のもとに入門。国内各地および海外公演にも数多く参加。東京・神奈川を拠点に活動。岡山では、父・義男とともに年に一度、後楽園能舞台にて社中会を開催している。重要無形文化財保持者(総合認定)

梶谷 義男

太鼓方金春流、昭和 16 年岡山県生まれ。岡山金春会主宰、地元愛好者の指導にあたる。後楽園能舞台にて昭和 34 年より毎年、50 余年にわたり社中の大会を開催。

日程：令和 6 年 8 月 24 日[土] 午後 5 時 15 分開演 / 午後 4 時 45 分開演

会場：岡山後楽園能舞台

チケット：前売・当日共 全席自由 5,000 円 (前売限定：当日有効の後楽園入園券付き)

【チケットお申込み・お問合せ】

公演事務局 TEL：086-222-3580 (梶谷)

岡山後楽園 TEL：086-272-1148

※未就学児および飲酒されてのご入場はお断りさせていただきます。
※主催者に許可のない写真撮影、録音、録画等は一切禁止といたします。
※靴箱の用意はございません。配布のビニール袋に入れて各自管理をお願いいたします。
※【当日券は能舞台前での販売】となりますため、後楽園入園券は別途お買い求めください。(入園券分の割引はございません)